

今月のテーマ

令和5年度「はやま住民福祉センター」の重点事業について

新型コロナウイルス感染症がまん延し、人と人との交流を中心とした様々な地域活動が自粛を余儀なくされたここ数年でしたが、令和5年3月にはマスク着用は個人の判断が基本となるなど、社会でのあり方も変化しつつあります。

社協では、令和5年度も引き続きコロナ禍の状況を踏まえて、人と人、人と社会のつながりと関係を維持させるとともに、新たな生活問題や地域課題に応じて、地域住民の皆さんとともに地域福祉活動を推進していきたいと思えます。令和5年度は特に下記の4点を重点事業として、柔軟に創意工夫をした地域福祉活動を展開するためのあり方などを模索していきます。

1. 断らない総合相談を窓口、専門職としてあらゆる生活相談や活動相談の解決に向けて取り組みます。
2. 葉山町内小中学校等と連携・協働し、福祉をテーマにする「総合的な学習の時間」などの授業を積極的に支援し、児童・生徒の福祉の学び(福祉教育)を推進します。
3. 介護保険「生活支援体制整備事業」第2層協議体を町内全域8地区での運営を行い、住民主体の取り組みを支援します。
4. 葉山町地域福祉推進プラン(第5次葉山町地域福祉活動計画)を推進するとともに、次期計画の策定作業に着手します。

◆4月からの職員体制や業務分担の一部変更について

令和5年4月より「はやま住民福祉センター」の職員体制や一部の業務分担が変わりました。

3月まで本センターの管理者を勤めていました中野が4月から事務局長になり、4月からは倉本が「はやま住民福祉センター」の管理者となります。また、中野が担当していました木古庭・堀内地区については、4月以降中野とともに新たに森島と一緒に担当いたします。体制や業務分担が変更し、ご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願い致します。

<はやま住民福祉センター 管理者:倉本 泰孝>

この度4月から、地域福祉活動の推進を担う「はやま住民福祉センター」の管理者を務めさせていただくことになりました。長年この部署で町民の皆様や各事業所・団体等と関わらせていただき、多くの学びや気づき、経験を得ながら、ワクワク・ドキドキを楽しみながら仕事をさせていただいています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



地域での活動の紹介

星とおひさま葉山里山の学校 1日体験会～参加者募集～

自然の中で動物を介し子どもたちが伸び伸びと自由に過ごす親子の学びの場を提供している里山の学校が、保護者向けの子育て講座及びホースハーモニー(馬とのコミュニケーション)の体験会を行います。

- 日時:5/14(日)、11/5(日) 10:00～14:00 荒天中止
- 場所:星とおひさま葉山里山の学校 駐車場あり
- 対象・定員:町内在住の小中学生とその保護者/親子10組
- 参加費:親子1組2名3,000円 子ども1名追加につき+1,000円
- 申込・問合せ: <http://hoshi-ohisama-hayama.com/>
<葉山町社協・年末たすけあい運動助成事業>

不登校・ひきこもりの家族会 葉山 ゆずり葉の会

それぞれの経験や想いを語り合い、不登校・ひきこもりの“今”と“その先”を一緒に考えませんか？

- 日時:4/13(木)、5/18(木) 毎月開催
10:00～12:00 不登校の子の親
13:30～15:30 ひきこもりの子の親
- 会場:4/13 葉山町福祉文化会館 2階和室
5/18 ちつくりかん(逗子駅行き風早橋バス停前)
※ZOOM参加も可
ゆずり葉の会 <https://yuzuriha.jimdosite.com/>
zushi.yuzurihanokai@gmail.com